令和７年度　基本評価調書	所管部局	経済部	所管課	観光振興課

施策名	観光地づくりの推進	施策コード	0505
政策の柱	観光	政策体系コード	1(2)B
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策、北海道Ｓｏｃｉｅｔｙ５．０推進計画、ゼロカーボン北海道推進計画	事務事業数	18
特定分野別計画	北海道観光のくにづくり行動計画		
SDGs		総合判定	概ね順調

予算額（千円）	R5	546,799千円	R6	456,226千円	R7	1,639,031千円

施策目標	広大で豊かな自然や食、文化といった本道が誇る観光資源を活用し更なる価値を高めるため、長期滞在や富裕層向けの旅行商品の開発をはじめ、多様化する観光ニーズに対応するための観光地づくりの推進や、本道の観光産業を支える人材の確保・育成の推進などにより、北海道観光のさらなる高付加価値化を図る。
現状と課題	（多様化する観光ニーズに対応した観光地づくり） ・旅行者ニーズや市場特性を的確に捉え、道内各地域の魅力ある観光地づくりとプロモーションを一体的かつ戦略的に展開するなど、観光の高付加価値化を進めるとともに、宿泊や交通など観光関連産業における人材の確保・育成、観光DXの推進、さらには観光客の移動の利便性向上など、受入体制の充実を図っていくことが重要。 ・SDGｓ、脱炭素といった持続可能な観光への対応が必要。 ・観光客の安全・安心の確保に資する環境の整備の取組が必要。

<主な取組>

今年度の取組	（多様化する観光ニーズに対応した観光地づくり） ・コロナ禍を経て多様化する観光ニーズに対応するため、ゼロカーボンの推進をはじめ、ワインツーリズムやケアツーリズムの推進、ナイトタイムエコノミーの促進など、地域の観光協会等が主体となった商品開発、観光DXの推進等の取組を重点的に支援する。 ・生産年齢人口の減少が進む中、コロナ禍による離職が重なり深刻な人手不足が生じている観光人材のうち、特に深刻な宿泊業を対象に、学生等へ、宿泊業への就業を図るため、職場見学等を実施する。また、受入体制整備を推進するため、引き続きセミナーや研修会を実施し、観光人材の育成を図る。
実績と成果	（多様化する観光ニーズに対応した観光地づくり） ・地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業において、地域のDMOや観光協会等が行う商品造成等に対し支援を実施（R6年度実績 DMO枠7件、広域連携枠14件、地域単独枠22件）。 ・宿泊業への就職に繋げるために職場見学会や出前講座等を実施（R6年度実績 職場見学会17回、出前講座37回）。また、通訳案内士やガイドを目指す人を対象とした外国語ガイド育成研修、観光関連事業者や団体向けインバウンド対応研修を実施（R6度実績 ガイド育成研修計579人参加、事業者向け集合研修5回、派遣型研修35回）。

参考HP①	北海道観光のくにづくり行動計画について	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/252-kodo_keikaku/koudoukeikaku.html
参考HP②	北海道観光振興機構　観光統計データ　レポート一覧	https://statistics.visit-hokkaido.jp/pdf/
参考HP③	北海道公式観光サイト	https://www.visit-hokkaido.jp/

令和７年度　基本評価調書	【1(2)B_0505】観光地づくりの推進

<指標分析>　*成果指標の基準　要件(1)：アウトカム指標、要件(2)：「施策目標」や「現状と課題」に直結、要件(3)：総合計画等に掲げる指標*

成果指標①	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
観光消費額（道内客１人当たり）			円	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和14年度	82.1%	C （80%以上90%未満）
			目標値	14,200	14,400	14,600	15,000以上		
			実績値	9,910	12,972	11,983			

設定理由 *要件(1)(2)*	旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を測る指標であり、課題である付加価値の高い、観光ニーズに対応した観光地づくりの取組の成果を測る指標として設定。
公表時期	毎年調査、6月頃暫定値・10月頃確定値公表
根拠計画等　*要件(3)*	「北海道総合計画」及び「北海道観光のくにづくり行動計画」

分析（主な取組と成果）

観光需要の回復も見られ、道内客では交通費と宿泊費において増加がみられた。

成果指標②	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
観光消費額（道外客１人当たり）			円	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和14年度	115.6%	A （100%以上）
			目標値	76,600	77,200	77,800	88,000以上		
			実績値	78,811	81,182	89,921			

設定理由 *要件(1)(2)*	旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を測る指標であり、課題である付加価値の高い、観光ニーズに対応した観光地づくりの取組の成果を測る指標として設定。
公表時期	毎年調査、6月頃暫定値・10月頃確定値公表
根拠計画等　*要件(3)*	「北海道総合計画」及び「北海道観光のくにづくり行動計画」

分析（主な取組と成果）

観光需要の回復も見られ、道外客では交通費、宿泊費、買い物費において、増加が見られた。

成果指標③	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
観光消費額（外国人１人当たり）			円	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和14年度	78.7%	D （80%未満）
			目標値	138,778	156,584	174,390	210,000以上		
			実績値	－	－	137,180			

設定理由 *要件(1)(2)*	旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を測る指標であり、課題である付加価値の高い、観光ニーズに対応した観光地づくりの取組の成果を測る指標として設定。
公表時期	毎年調査、6月頃暫定値・10月頃確定値公表
根拠計画等　*要件(3)*	「北海道総合計画」及び「北海道観光のくにづくり行動計画」

分析（主な取組と成果）

観光需要の回復も見られ、令和元年度の138,778円と同水準まで回復が見られた。

成果指標④	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*	
公表時期	
根拠計画等　*要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標⑤	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*	
公表時期	
根拠計画等　*要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

令和７年度　基本評価調書	【1(2)B_0505】観光地づくりの推進

<取組分析（連携状況、緊急性・優先性）>

連携状況	（課題） ・観光の高付加価値と観光消費の拡大のために、観光ニーズの変化に対応し、個別の観光テーマを深掘りすることで地域のブランド力を高めるとともに観光の再構築が必要。 ・観光需要の急激な回復により事業者だけでは人材確保・定着に向けた取組を進めることは困難。また、観光関連産業の魅力が学生たちに知られておらず、就職先の選択肢になりにくい。 （取組と成果） ・地域へアドバイザー派遣等を行うことで伴走型の支援を実施。 ・市町村や国の機関と情報交換を行いながら人材確保に取り組むとともに、小中学校・高校・専門学校・大学の教育機関と連携し、職場見学会や出前講座を実施し、将来の人材確保に繋げる取組を実施。
緊急性・優先性	（課題） ・深刻な人手不足や賃金・物価の上昇等による仕入価格の高騰などが続いており、地域経済活性化に向けては観光客の消費単価増加が必要。 ・全産業的な労働力不足に加え、コロナ禍による人材流出等により、人材不足が更に深刻化している中、観光需要が急激に回復しており、事業者だけでは人材獲得・定着に向けた取組を進めることが困難。 （取組と成果） ・地域と連携し、旅行者ニーズを捉えながら、北海道の強みを活かした観光地づくりを推進。 ・道内各地域において宿泊事業者への説明会や事業者訪問を実施し、人手不足の状況やニーズを把握するとともに、各教育機関にも訪問による聞き取りを行い、キャリア教育にも資するよう、出前事業やインターンシップを実施。

<取組分析（その他統計数値等）>

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
	令和４年度	令和４年度	令和５年度
圏域別の宿泊延べ数（道央圏以外）	854万人	1,256万人	1,419万人

（課題）

コロナ禍後の世界的な観光需要回復の波を確実に捉えるため、一層高度化、多様化するニーズを踏まえた取組を通じ、観光の高付加価値化を進め、観光消費の拡大に繋げるとともに、その効果を全道域へ波及させる必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
コロナ5類移行などにより、観光客が回復していることから、道央圏以外の宿泊者数も延びてきており、引き続き取り組んでいく。	a

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度

（課題）

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度

（課題）

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定

令和７年度　基本評価調書	【1(2)B_0505】観光地づくりの推進

<一次政策評価（実施機関が行う政策評価）>　※「指標判定」と「その他統計数値等」はそれぞれ指標等の平均を算出

指標判定	C※	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	a		

■判定が「D」の成果指標
（観光消費額（外国人１人当たり））

	対応方針番号	内容
今後の対応方針	①	道内客の観光消費額は低調となっているが、観光消費額の向上には地元（道民）が誇りと愛着を感じながら自然環境や多様で豊かな文化を楽しめる観光地づくりが必要となることから、様々な人材が参加する地域一帯となった観光地づくりを進める。
	②	道外客の観光消費額の更なる増加に向けて、モノ消費からコト消費への転換に対応することが必要であると考えられることから、観光客のニーズ変化を捉え、変化に対応できる観光コンテンツの磨き上げや質の高い人材育成に取り組む。
	③	外国人旅行者の多様なニーズに対応するために、地域の魅力を活かした新たな商品づくり等とともに、満足度の高い受入体制の整備に取り組む。

<二次政策評価（知事が行う政策評価）>

二次政策評価意見	【施策目標の達成状況】 総合計画に掲げる、持続可能な地域経営の視点に立った観光地づくりのため、滞在コンテンツの充実、受入環境整備や情報発信などを担う観光地づくり法人（DMO）の取組の支援などが重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。

前年度の二次政策評価意見（区分）

<一次政策評価を踏まえた対応状況（３月末時点）>

	対応方針番号	内容
翌年度の対応状況	①	今後も、観光機構と連携し、地域が取り組む地域の多様な観光コンテンツの造成、磨き上げから、受入体制の整備、販売及び情報発信までの一連の支援を実施していく。
	②	今後も、観光機構と連携し、地域が取り組む地域の多様な観光コンテンツの造成、磨き上げから、受入体制の整備、販売及び情報発信までの一連の支援を実施していくとともに、人材育成に取り組む。
	③	今後も、観光機構と連携し、地域が取り組む地域の多様な観光コンテンツの造成、磨き上げから、受入体制の整備、販売及び情報発信までの一連の支援を実施していく。

<二次政策評価意見への対応状況（３月末時点）>

二次政策評価意見への対応状況	DMOをはじめとした地域による滞在コンテンツの充実や宿泊税も活用した受入環境整備や人材育成などの支援を通じて、地域の特性や実情に応じた観光地づくりを推進していく。

令和７年度　事務事業評価調書

施策名	観光地づくりの推進	施策コード	0505

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
0302		一般	地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業費（一部：創生交付金）	多様化する観光客ニーズに対するため、地域の受け入れ体制の整備や満足度の高い観光地づくりを推進し、交流人口や観光消費の拡大に繋げ、地域経済の活性化を図る。	観光振興課	0	225,526	203,026	0.8	0.0	0.8	232,066	①②③	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照 【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照 【事務事業のコスト】 多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	改善
0306		一般	広域観光周遊促進事業費	道内各地の拠点となる空港を核とした魅力あるモデルルートを形成するとともに、地域への周遊促進に向けて二次交通の利便性向上に取り組むことで、インバンド等の需要の地域偏在の解消を図る。	観光振興課	0	97,973	97,973	0.8	0.0	0.8	104,513			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	
0308		一般	広域連携ＤＭＯとしてのデジタルマーケティング事業費（創生交付金）	観光誘客促進を図るため、マーケティングデータの収集・分析等を実施する。	観光振興課	0	36,567	18,284	0.8	0.0	0.8	43,107			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	
0310		一般	北海道さっぽろ「食と観光」情報館運営費	道が高い競争力を持つ「食」と「観光」の分野において、その魅力をアピールする総合情報拠点として札幌市との連携により整備した「北海道さっぽろ『食と観光』情報館」を運営する。	観光振興課	0	37,672	25,388	0.4	0.0	0.4	40,942					
0311		一般	ユニバーサルツーリズム推進事業費（創生交付金）	誰もが安全・安心に旅行を楽しめる「ユニバーサルツーリズム」の実現に向けて、様々なニーズを持つ旅行者が道内旅行を楽しむことができる受入体制整備を推進する。	観光振興課	0	19,873	9,937	0.4	0.0	0.4	23,143			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	
0313		一般	住宅宿泊事業法関連事業費	民泊を活用した誘客拡大と民泊による近隣住民とのトラブルの解消を目的とする「住宅宿泊事業法」を適正に執行するための経費。	観光振興課	0	11,892	11,892	2.0	1.4	3.4	39,687					
0314		一般	観光統計調査事業費	本道における観光入込客数等を調査し、道の観光振興施策推進の基礎資料とするほか、市町村や観光事業者等の活用に供する。	観光振興課	0	5,496	5,496	0.5	0.0	0.5	9,584					
0317		事務	観光客の受入体制整備に関する事務	観光客に対応するため、受入体制の整備を図る。（Ｗｉ－Ｆｉ，キャッシュレス、医療、レンタカー、災害対応等）	観光振興課	0	0	0	0.4	0.0	0.4	3,270					
0318		事務	地域イベントに関する事務	地域イベントに係る後援名義依頼、役員就任、行事への出席、キャンペーン支援	観光振興課	0	0	0	0.4	0.0	0.4	3,270					
0319		事務	その他内部管理事務	予算決算、文書管理、議会対応、職員の人事・服務・給与・福利厚生、物品管理、広報広聴、陳情要望、政策評価、企画立案など、局内の内部管理に関する事務全般	観光振興課	0	0	0	4.0	0.0	4.0	32,700					
0320	0503	事務	観光局総合調整業務	観光局の各事務事業が円滑に執行されるよう管理する。	観光振興課	0	0	0	9.0	0.0	9.0	73,575					
0346		一般	観光人材発掘事業費（一部：創生交付金）	人手不足が著しい宿泊業に対し、学生等へ職場見学等を通じ、宿泊業への就業を図る。	観光振興課	0	40,444	32,042	0.8	0.0	0.8	46,984			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	
0347		一般	観光人材育成事業費（一部：創生交付金）	北海道観光の受入体制整備を推進するため、セミナーや研修会を実施し、観光人材育成を図る。	観光振興課	0	25,779	12,890	0.5	0.0	0.5	29,867			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	
0348		一般	観光客地域偏在解消に向けた検証事業費	観光客の地域偏在を解消するため人流データによる分析を実施する。	観光振興課	0	17,850	17,850	0.4	0.0	0.4	21,120					
0350		一般	ケアツーリズム推進事業	将来の市場拡大が期待できる癒やしや健康など心と身体のケアをテーマとした旅行を推進する。	観光振興課	0	23,115	23,115	0.4	0.0	0.4	26,385					

令和７年度　事務事業評価調書	施策名	観光地づくりの推進	施策コード	0505

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
0353		一般	持続可能な観光地づくり推進事業費（創生交付金）	持続可能な観光地づくりを目指すため、オーバーツーリズム対策や受け入れる道民、観光関連産業の従業員・経営者の満足度調査を実施する。	観光振興課	0	9,101	4,551	0.4	0.0	0.4	12,371			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	
0354		一般	北海道宿泊税事業費	北海道宿泊税の周知広報、徴収開始に向けたレジシステム等の改修に係る補助、施策の検討に向けた地域意見交換会等の経費。	観光振興課	0	1,045,558	1,045,558	4.0	0.0	4.0	1,078,258					
0355		一般	北海道観光誘致推進事業費（補助金）	本道観光の振興を図るため、（公社）北海道観光機構が実施する各種観光振興事業を支援し、観光事業の健全な発展を図る。	観光振興課	0	42,185	42,185	0.4	0.0	0.4	45,455			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	
計						0	1,639,031	1,550,187	26.4	1.4	27.8						